



この人!

海上の里の風景 海上の森の会 鈴木五男さん、鈴木俊憲さん

ム:海上の里との関わりを教えてください。

五:海上の里で生まれて子どもの頃から農業に関わっており、現在は里では暮らしていないけれども、耕作を続けています。やはり新鮮な野菜やおいしいお米を食べられるのは魅力です。

俊:私は結婚を機に海上の里と関わることになりました。もともと農業に携っていたので、自然と生活に馴染めました。昔と比べると山が荒れているのを感じます。若い人は里での仕事をやらなくなりました。万博をきっかけにハイカーが増えたと感じます。

ム:里では県との協働事業である「里の教室」で農業体験を行っています。どうですか。

俊:里の教室は今年で6年目ですが、初めは県や里以外の方と一緒に農業をやるということに戸惑いがありました。今では楽しくやっています。毎回、参加者に楽しんでいただけるように工夫を凝らしています。ひとつ残念なことは、連続して参加できる若い親子が少ないということです。やはり、田植えから草取り、収穫までの一連の仕事をやり遂げたときに味わえる喜びをぜひ感じていただきたいです。最近の子どもたちは忙しいのでしょうか。

ム:ここ最近、イノシシとの攻防が激化してきていますね。

五:昭和30年頃も被害が激しく、当時はトタンや有刺鉄線で農地を囲い、夜は当番制で見張り、カーバイトの爆発で脅したりして防いでいました。被害はその後収まってきたが、6年くらい前から再び被害

害が大きくなってきてしまいました。はっきりとした理由は分かりませんが、狩猟の衰退と周辺の開発によりイノシシが移ってきたのかとも思います。

俊:去年辺りから被害がひどく、心身共にイノシシのせいで参っています。さっそく被害が出ています。最近のイノシシは賢くなってきていて、罠を仕掛けても掛かるのは経験の浅い若い個体ばかり。畑には大きな足跡が。夜間の人目が無くなったので、イノシシが自由奔放に動き回っています。

ム:海上の里のよいところ、自慢できることは。

五:身近にあるわりに、手付かずの自然が随所にあるところ、風が上手く抜ける地形なのか適度なそよ風が吹くところ、扉を開けっ放しでも安心して生活ができる場所です。

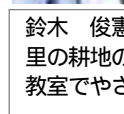
俊:ここへ美味しい空気を吸いに来てください。里には古民家「かたりべの家」という素敵な休憩所があるので、雰囲気を楽しみながらゆっくりくつろいでください。

五:里から田畑の耕作風景がなくならないようにしたい。休耕地を、農業をやりたいと思っている人に貸し出すとか、海上の里を人が住める環境にしたいと思っています。

プロフィール



鈴木 五男さん(文中:五)
生粋の海上っ子。里でイノシシ対策に精を出している。森では案内巡視を行っている。



鈴木 俊憲さん(文中:俊)
里の耕地の世話を中心となって行い、里の教室でやさしく農業を教えてください。



センター職員の特集コーナー

かたりべのひと言!

猿投山と海上の森

名古屋市内から東を望むと、青緑色の稜線が見えるのが猿投山である。その猿投山の瀬戸市側の裾野に海上の森がある。その猿投山のことを少しお話をしたい。猿投山は瀬戸市と豊田市にまたがる標高629mの山で、三河高原の西端に位置し愛知高原国定公園に含まれている。山頂には東海自然歩道が通っている。猿投山の語義は、社蔵縁

起書によると「景行天皇は猿を愛し、王座にはべらしていたが、天皇が伊勢国へ行幸の際、猿が不吉なことを行ったので、天皇は怒り、海へ投げ捨てたとある。その猿が、後の日本武尊の東征の折、壮士となって従ったといい、そのために、その猿の籠もった山を猿投山と言った」のである。その猿投山にある猿投神社は、中世から格式の高い正一位猿投大明神として祭られ、有名な棒ノ手の奉納が行われている。海上の森にある物見山を通る尾根道はその参道であったかもしれない。(T.N)

INFORMATION

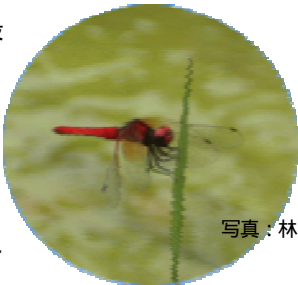
イベント・参加者募集 もりもり 集まれ!

すべてエコポイント対象イベントです。
第2回海上の森ツアー【日時】 9月15日
 (土)10:00~13:30【場所】海上の森【定員】
 50名【申込期限】9月1日(土)
森の教室(入門編)【日時】 初回9月16日
 (日)10:00~15:00(全4回)【場所】海上の
 森【定員】50名【申込期限】9月2日(日)
ムーアカデミーセミナー【日時】 初回9月29日(土)10:
 00~15:00(全8回)【場所】研修室及び海上の
 森【定員】40名【申込期限】9月15日(土)
森の教室(技能向上編)【日時】 初回9月30
 日(日)10:00~15:00(全3回)【場所】海上の
 森【定員】20名【申込期限】9月16日(日)

応募方法：官製はがき、FAX 又は E-mail にイベント名を記載の上 住所 氏名 年齢 電話番号を記入し、申込期限(消印有効)までにあいち海上の森センター(ムーアカデミー)宛てへ。申込多数の場合は抽選により決定し、全員に結果を通知します。


森のなかま

ハッチョウトンボ (トンボ目トンボ科)
 日本産のトンボ類では最小で、世界的にみても最も小さな種類のひとつです。平地や日当たりのよい湿地にすんでいます。お尻を上げて草の先端に止まっている姿を見かけます。オスは成熟すると全身が真っ赤になり、はねの付け根がオレンジ色になります。メスは黄色と黒の縞模様です。体は小さいのに、人が近寄っても逃げることが少なく、よく写真を撮らせてくれます。矢田鉄砲場八丁目(現在の、名古屋市東区大幸町付近)で発見されたため、「八丁蜻蛉」と呼ばれるようになりました。大きさ16~21ミリ。



写真：林

展示の目玉

特別展示：「海上の里の年中行事」

 海上の里で今も行われている、昔からの年中行事。大晦日の「オコズナ」やひな祭りの「オコシモチ」など、海上地区に特徴的な伝統を垣間見ることができます。
四季の展示：葉っぱの大解剖!

夏の海上の森にたくさんある葉っぱ。よく見ると葉っぱはみな個性的。葉っぱを通じて、葉っぱのこと、森の出来事、私たちの暮らしを見てみましょう。触る展示もあるよ。



--- お知らせ ---
 ムーアカデミーの空調システムが「蓄熱のつどい」で感謝状を受けました。
 平成19年7月12日に東京で開催された、(財)ヒートポンプ・蓄熱センター主催の「蓄熱のつどい」で、ムーアカデミーの空調システム「エコ・アイス」が蓄熱システムの普及拡大に貢献したとして「拡める」の部門で感謝状を受けました。
 「エコ・アイス」は夜間電力を使って、夏は氷、冬は温水を蓄えて昼間の冷房及び暖房に利用するシステムで、CO₂やNO_xの排出削減に貢献する、エコなシステムです。



ムーアカデミーの地下にある蓄熱槽

編集後記 遅い梅雨明けを迎え、海上の森は夏真っ盛りで、今もセミの大合唱が聞こえています。私は日暮れに鳴くヒグラシのカナカナという声が好きです。少し涼しげな感じがするのと、もうすぐ帰れる時間だよと知らせてくれるからです。ヒグラシは光に敏感で、薄暗い日は昼間でも鳴くので調子を狂わされることがあります...

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)
 発行日 平成19年8月10日
 〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1
 TEL 0561-86-0606 FAX 0561-85-1841
 E-mail kaisho@pref.aichi.lg.jp
 URL http://www.pref.aichi.jp/kaisho/
 この情報誌についてご意見お聞かせください。

